

No.452

SHEET IMPACT TESTER

シートインパクトテスタ



TOYOSEIKI

SHEET IMPACT TESTER

No.452

シートインパクトテスタ

目的

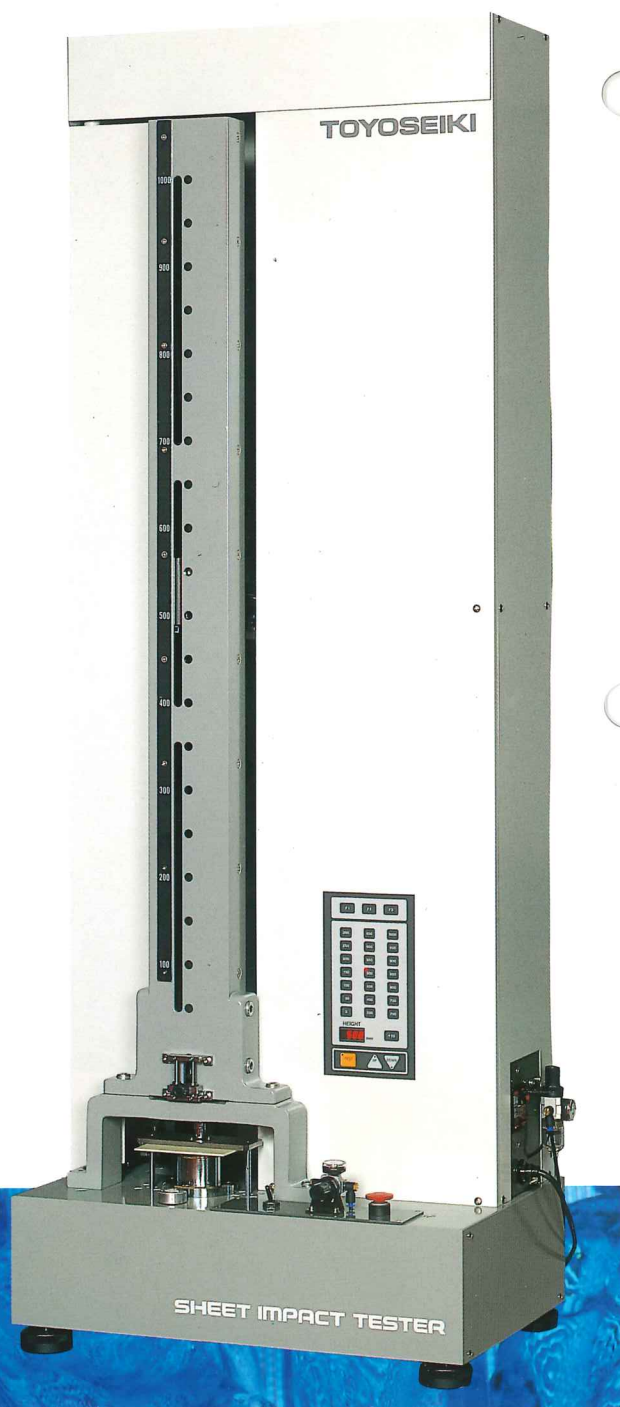
この装置は、塗膜やプラスチックシートなどの衝撃試験に使用されているデュポン衝撃試験機やガートナー衝撃試験機の欠点を改良し、オペレーターの作業負担を軽減する目的で設計製作されたものです。

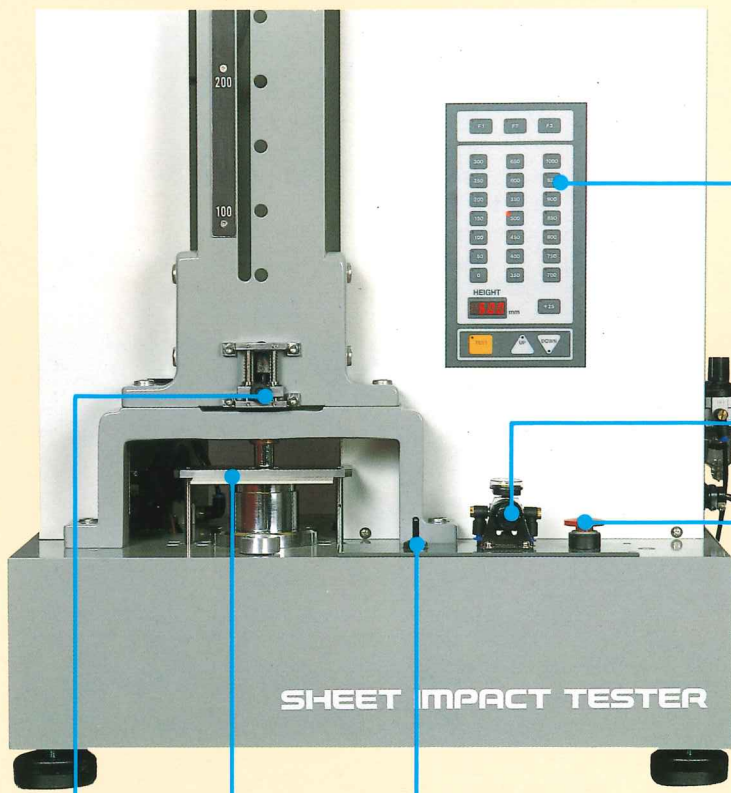
この種の試験機による評価法は、打撃ポンチ(撃ち型)の上に落下させるオモリの落下高さを変えながら衝撃破壊点を見出すため、そのオモリの持ち上げ操作がオペレーターにとって、大きな負担となっていました。

この「シートインパクトテスタ」は、オモリの持ち上げ操作をモーター駆動により行ない、さらに高さの設定も操作パネル上で自由に選択ができるので、従来機の煩雑さや、繰り返しによる疲れから開放してくれるオペレーターのニーズに応えた試験機です。

特長

1. 筋力トレーニング的作業から開放されます。
2. 落下高さは50mm間隔で最高1000mmまで操作パネル上で設定できます。
また、1mm単位の設定も微調整ボタンで行なえます。
3. サンプル押え用のエアークランプがオプション装備できます。
4. 既設のデュポン衝撃試験機にロボットだけの取り付けができます。





操作パネル

シートキータイプのコンパクトパネルです。

サンプル押え圧力調整弁(オプション)
手元で簡単にサンプル押え圧力を設定できます。

緊急停止ボタン
操作ミスによる事故防止のため、手の届きやすい場所に設置しました。

サンプル押えスイッチ(オプション)
エアークランプの操作に使用します。

サンプル押えエアークランプ(オプション)
安全のため、あるいは衝撃によるサンプルの移動防止に役立ちます。

打撃ポンチ持ち上げつまみ
サンプルをセットするとき、打撃ポンチの持ち上げ操作に使用します。

ファンクションキー…仕様により機能が追加できます。(オプション)

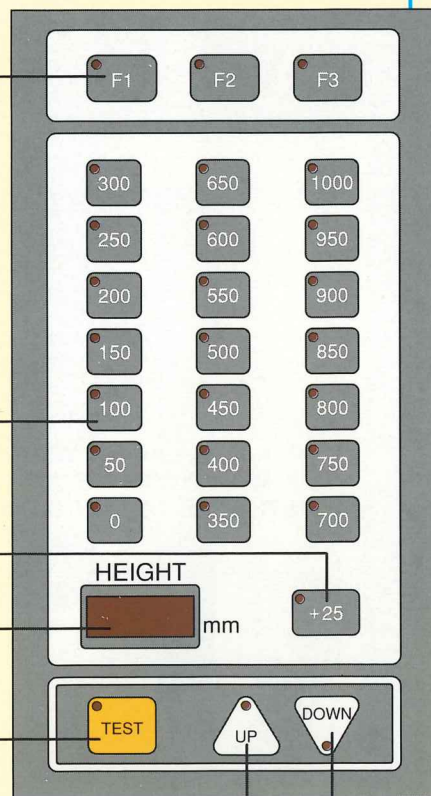
落下高さ設定ボタン…50mmピッチで最高1000mmまで設定ができます。

高さ設定補助ボタン…現在の落下高さに25mmプラス設定ができます。

落下高さ表示…最小1mm単位で0~1000mmまで表示します。

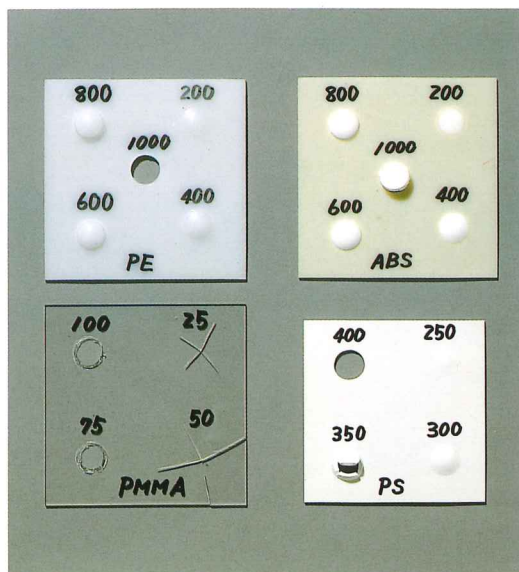
テストボタン…オモリは、落下後、設定高さまで自動上昇します。

高さ微調整ボタン…落下高さが1mm単位で設定ができます。



SHEET IMPACT TESTER

試験サンプル例(写真)



シートインパクトテスト主な仕様

落下高さ	最大1000mm
高さ設定	有段50mm間隔設定(最小1mm設定可能)。
落下ウエイト	300g、500g、1000g、2000gより選択。
打撃ポンチ(撃ち型)	12.7、7.9、6.3、4.7、3.2、1.6mmRより一つ選択。 他はオプション。
受け台半径	平面、15.2、8.1、6.3、4.7、3.2、1.6mmRより一つ選択。 他はオプション。
オモリの持ち上げスピード	約200mm/sec
電源	AC100V(50/60Hz)、3A 単相
エア源(※)	3 kg/cm ² (0.3MPa)エアクランプ用
本体寸法・重量	W:552×D:352×H:1506mm 約150kg

(※)オプション：エアークランプ取付の場合必要です。



 株式会社 **東洋精機** 製作所

本社 〒114-8557 東京都北区滝野川5-15-4 TEL03(3916)8181 FAX03(3916)8173
 大阪支店 〒564-0052 大阪府吹田市広芝町5-3(豊田ビル) TEL06(6386)2851 FAX06(6330)7438
 名古屋支店 〒461-0004 名古屋市東区葵3-15-31(住友生命千種ビル1F) TEL052(933)0491 FAX052(933)0591